



第二中通信

安中市立第二中学校
平成29年5月17日(水)

二中スピリッツ

文武両道・継続は力なり・30精神 発行責任者 石坂 克己
住所 安中市原市2245番地2 電話 027-385-7857

29年度が始まり1ヶ月半が過ぎようとしています

4月7日に今年度の始業式・入学式を行い、ゴールデンウィーク前から始まった安中市中体連春季大会も終了しました。結果は下の表の通りですが、どの部も一生懸命戦ってくれました。3年生にとっては、市の大会も残すところ7月に行われる総合体育大会のみです。3年間のまとめとして、持てる力を全て発揮して欲しいと思います。

今年度も1ヶ月半が過ぎ、1年生もこの安中二中での生活に慣れてきたようです。本格的に部活動での活動も始まります。夕方遅くまで続く練習にはまだ慣れないかもしれませんが、少しずつ身体を慣らし頑張っていってほしいと思います。

登下校には充分気をつけて！

例年登下校に慣れた5月頃から自転車による交通事故(自損を含む)が目立ち始めます。特に国道18号から磯部方面へ下る道は、やなせ大橋方面も中橋方面も、かなりのスピードが出ます。もし、ハンドル操作を間違ったら、スリップをしたら、横道から人や車が出てきたら大きな事故につながりかねません。気持ちよくスピードを出せる道であっても、自分で自転車をコントロールできるスピードで乗るなど、安全に気をつけてもらいたいものです。まずは「自分の身体は自分で守る！」ことを心がけましょう。

安中市中体連春季大会の結果

○ソフトボール	女子	優勝	(県大会出場)
○軟式野球		優勝	(県大会出場)
○サッカー		第3位	
○バレーボール	男子	準優勝	(県大会出場)
	女子	準優勝	
○バスケット	男子	トーナメント敗退	
	女子	準優勝	
○卓球	男子	団体 準優勝	
	男子	個人 第3位	大手 一弘(県大会出場)
	女子	団体 準優勝	
	女子	個人 準優勝	泉崎 萌伽(県大会出場)
○ソフトテニス	男子	団体 優勝	(県大会出場)
		第3位	Bチーム
		個人 優勝	佐藤・高橋組(県大会出場)
		第3位	上原・新井組(県大会出場)
		第3位	大和・大手組(県大会出場)
		第3位	金井・須藤組(県大会出場)
	女子	団体 準優勝	
	女子	個人 準優勝	青柳・小見組(県大会出場)
		第3位	大手・岡部組(県大会出場)
		第3位	伊原・富田組(県大会出場)
○剣道	男子	団体 準優勝	
	女子	団体 準優勝	
		個人 優勝	萩原 麻乃(県大会出場)

大会の結果

(紙面の都合で一部のみ掲載です。)

○吹奏楽	第25回埼玉県・群馬県代表者ソロコンテスト
	バリトンサクソフォン 銀賞 大井 楓喜
	トロンボーン 銀賞 上原 舞
	トロンボーン 銀賞 小林 梨央羽
○吹奏楽	西部地区ソロコンテスト
	バリトンサクソフォン 銀賞 大井 楓喜
	トロンボーン 銀賞 上原 舞
	トロンボーン 銀賞 小林 梨央羽
○ソフトテニス	安中市春季研修大会
	男子 個人 優勝 金井・須藤組
	女子 個人 優勝 青柳・小見組
○卓球	平成29年度富岡市春季卓球大会
	男子 個人 準優勝 須藤 喬也
○剣道	第2回角岡杯 男子 Dグループ 優勝

家庭訪問では大変お世話になりました

短時間の訪問で、十分な話し合いができなかったかもしれませんが、家庭でのお子さんの様子等についてお話をお聞きすることができました。心配事やお聞きになりたいこと等がございましたら遠慮なく担任または学校までご連絡下さい。

1年生の部活動が本格的に始まります

1年生は入学以来、部活動見学や仮入部等で小学校にはなかった中学校での部活動を体験してきました。いよいよ5月18日(木)からは1年生の活動時間も午後6時までとなります。中学校生活にだいぶ慣れたとはいえ、新しい仲間、新しい学校、そして放課後の部活動と今までとは全く違う生活に疲れも溜まっていくと思います。十分に睡眠と栄養をとり、体調管理をやってもらいたいと思います。調子が悪いときには無理をせず、体力回復に努めることも大切です。そして6月からは部活動の朝練習への参加も可能となります。朝練習へは必ず参加しなければならないものではありません。また、1年生は先輩の朝練習が始まる前に登校しなければならないということもあります。朝練習を行ってよい時間は、準備の時間を含め7:20~8:10です。それ以前には登校しないよう各クラス・各部活動でも指導を行っていきます。

放課後の部活動は、日没を考慮して以下の表の様に決められています。完全下校の時間には、全ての生徒が下校できるよう、職員で下校指導も行います。

部活動終了時刻

期間	完全下校時刻	部活動によっては、完全下校時刻前に部活動を終了することもあります。
5月	18:40	
1年生	18:00	
6月	18:40	7月は大会直前の場合に限り、活動を30分延長することがあります。その場合には必ず事前に家庭へ連絡いたします。
7月	18:40	
~9/23	18:10	
~10/19	17:40	
~11/3	17:10	
~11/30	16:50	原則として月曜日は部活動を行いません。(行事等の関係で他の曜日と変更になることもあります。)
~1/9	16:40	
~2/12	17:10	
~3/24	17:40	

◎1年生が土曜・日曜などの休日の部活動に参加するようになると自転車による登下校を許可する「特別許可」の受付を行います。平日の登下校に使用する自転車は先日整備点検を実施いたしましたが、特別許可で使用する自転車については、学校での整備点検は実施いたしません。各ご家庭で点検の実施をお願いいたします。なお、平日の自転車通学と同様決められたヘルメットの着用をお願いします。

先日読んだ雑誌から

「問題を起こさない」が最優先ではない
 私が子供の頃もいじめはあったし、それ以外にも子供同士の様々なトラブルがあった。それ自体が非難されるべき事とは思わない。むしろそれが自然な姿だろう。

学校に対する社会の目が厳しくなっているせいかもしれないが、最近気になるのは、学校は本来、失敗していい場所だということ、むしろ子供のうちにたくさん失敗の練習をして、そこからどうするかを学ぶ場所だということが忘れられかけていらないか、ということだ。家庭も同じ。家や学校でも失敗が許されないとしたら、子供は一体どこで失敗の練習をすればいいのかわからない。取り返しのつかないような大きな問題は避けなくてはいいが、小さなトラブルはむしろ成長のチャンスだ。いきなり大人が介入するのではなく、大人の目が届く安全なところで、子供たち自身にどうすべきかを考えさせる。間違っただけで行きそうになったら大人が少し手を貸して軌道修正すればいい。ねらいはあくまでも子供の成長であって、「問題の発生をゼロにする」ことではない。私も恥ずかしい失敗を山ほどしてきた。子供には失敗できる場所や逃げられる場所がどうしても必要だ。そういう場所を確保し、守っていくことが、教育にとって最も重要なことの一つだと信じている。

教職研修 2017・5月号 「教育直言」文部科学省大臣官房審議官 浅田 和信氏

本校でも小さなトラブルは毎日のように発生する。叱って終わり、謝って終わりではなく、トラブルを起こさないために次はどうすればいいのかわかるのか、自分は何ができるのかを考えさせていきたい。

情報管理にご注意下さい。

この紙面における【個人情報】については、個人情報保護の観点から、お取り扱いには十分ご注意ください。
 なお、情報管理についてご要望等ございましたら、学校までお知らせ下さい。
 (安中市立第二中学校 TEL: 385-7857)